

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 30 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 緩和医療における歯科医療従事者の育成事業(緩和ケア研修会)</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人神奈川県歯科医師会 会長 鈴木 駿介</p>
<p>3. 実施組織： 一般社団法人神奈川県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： がん医科歯科連携の推進の必要性は認知され、その連携について具体的な事業展開が行われているが、十分とは言えない。特に緩和医療、がんと告知された時点から始まる緩和医療、また従来の意味での終末期における緩和医療の歯科医療の果たすべき役割については、いまだ理解がされていない。この事業により、歯科医療従事者が緩和医療の実際を学び、緩和医療における歯科医療の役割を認識し実践する人材の育成を目的とする。今後、地域包括ケアシステムを構築する上で、緩和医療を理解した歯科医療従事者は、外来化学療法中のがん患者や在宅におけるがん患者（終末期も含む）への対応の向上が期待できる。 平成 28 年度より 8020 推進財団殿より助成を受け、本事業を実施しているところであるが、本年度も継続実施することにより、緩和医療学会講師とともに、歯科医師・歯科衛生士に必要な緩和ケア研修のあり方をさらに検討するとともに、より多くの会員が緩和医療における歯科医療の役割を認識し実践する人材となることが期待できる。</p>
<p>5. 事業の内容： 開催日時：平成 31 年 2 月 3 日(日)8:30～18:00 開催場所：神奈川県歯科医師会館 501・502 研修室 対 象：神奈川県歯科医師会会員・神奈川県歯科医師会会員診療所の歯科衛生士 定 員：30 名(歯科医師 22 名、歯科衛生士 8 名) 講 師：緩和ケアに携わる医師・歯科医師・MSW のべ 14 名 内 容：e-learning・講義・ワークショップ・ロールプレイ 緩和ケアにおいて、安全で質の高い歯科医療を提供するための人材を育成するため、厚生労働省が定める「緩和ケア研修会の開催指針」に準拠した研修会を実施</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：歯科医療従事者に限定した緩和ケア研修会実施に理解を示してくれたファシリテーターの指導のもと、がん患者を取りまく様々な課題を歯科医療従事者が研修できたことはとても有意義であった。 既定の緩和研修会のプログラムに加え、歯科医療従事者が理解しやすい口腔がんも症例に加えて実施したが、アンケート結果にあるように難易度が高いと感じている受講者が多かったことについては、今後の課題である。また、開催指針の変更により本年度から web 上で e-learning を実施することが必須となったが、パソコンを使うことが得意ではない受講者にとっては対応が困難であり、実際に受講を辞退するケースが多々あったため、次年度以降は e-learning の受講形式についても検討する必要がある。</p>